

〇現行計画における成果目標（9PJベース）

プロジェクト名	アウトカム		アウトプット
	産業・国全体への影響	目標の実現度・到達度、成果	取組みの進捗・効果等の結果
①オールジャパンでの医薬品創出	(該当なし)	●企業への導出（ライセンスアウト） 5件	●相談・シーズ評価 1,500件 ●有望シーズへの創薬支援 200件 ●創薬ターゲットの同定 10件
②オールジャパンでの医療機器開発	●医療機器の輸出額を倍増（2011年約5千億円→約1兆円） ●国内医療機器市場規模の拡大 3.2兆円	●5種類以上の革新的医療機器の実用化	(該当なし)
④再生医療実現	(該当なし)	●iPS細胞技術を活用して作製した新規治療薬の臨床応用（臨床研究又は治験の開始） ●再生医療等製品の薬事承認数の増加 ●再生医療関係の周辺機器・装置の実用化	●臨床研究又は治験に移行する対象疾患の拡大 35件 ●iPS細胞技術を応用した医薬品心毒性評価法の国際標準化への提言
⑤疾病克服に向けたゲノム医療実現	(該当なし)	●糖尿病などに関するリスク予測や予防、診断（層別化）や治療、薬剤の選択・最適化等に係るエビデンスの創出	●発がん予測診断、抗がん剤等の治療反応性や副作用の予測診断に係る臨床研究の開始 ●認知症・感覚器系領域のゲノム医療に係る臨床研究の開始 ●神経・筋難病等の革新的な診断・治療法の開発に係る臨床研究の開始
③革新的医療技術創出拠点	(該当なし)	(該当なし)	●医師主導治験届出数 年間40件 ●First in Human (FIH) 試験（企業治験を含む）年間40件
⑥ジャパン・カンサーリサーチ	●いわゆるドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの解消	●小児がん、希少がん等の治療薬に関して1種類以上の薬事承認・効能追加 ●小児・高齢者のがん、希少がんに対する標準治療の確立（3件以上のガイドラインを作成）	●日本発の革新的ながん治療薬の創出に向けた10種類以上の治験への導出 ●小児がん、難治性がん、希少がん等に関して、未承認薬・適応外薬を含む治療薬の実用化に向けた12種類以上の治験への導出
⑦脳とこころの健康大国実現	(該当なし)	●精神疾患の客観的診断法の確立（臨床POC取得4件以上、診療ガイドライン策定5件以上） ●精神疾患の適正な治療法の確立（臨床POC取得3件以上、診療ガイドライン策定5件以上）	●認知症の診断・治療効果に資するバイオマーカーの確立（臨床POC取得1件以上） ●日本発の認知症の疾患修飾薬候補の治験開始 ●脳全体の神経回路の構造と活動に関するマップの完成
⑧新興・再興感染症制御	●WHO、諸外国と連携したポリオ、麻疹などの感染症の根絶・排除の達成（結核については2050年までの達成目標）	●ノロウイルスワクチン及び経鼻インフルエンザワクチンに関する薬事承認の申請 ●新たなワクチンの開発 ●新たな抗菌薬・抗ウイルス薬等の開発	●得られた病原体（インフルエンザ、 Dengue熱、下痢症感染症、薬剤耐性菌）の全ゲノムデータベース等を基にした、薬剤ターゲット部位の特定及び新たな迅速診断法等の開発・実用化 ●ノロウイルスワクチン及び経鼻インフルエンザワクチンに関する臨床研究及び治験の実施
⑨難病克服	(該当なし)	●新規薬剤の薬事承認や既存薬剤の適応拡大を11件以上達成（ALS、遠位型ミオパチー等）	●欧米等のデータベースと連携した国際共同臨床研究及び治験の開始 ●未診断又は希少疾患に対する新規原因遺伝子又は新規疾患の発見を5件以上達成